

＜基本方針＞

平成25年度から公益財団法人に移行した盛岡地域地場産業振興センターは「不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する」団体として、「文化及び芸術の振興」を目的として新たな事業展開をしてまいりました。平成26年度も上記の目的を踏まえ、たうえで公益事業を更に充実し盛岡地域の地場産品を県内外に広く紹介し、普及啓発を図ります。また、併せて地域外商品の販売や施設賃貸等の収益事業についても積極的に取り組みセンターの運営安定を図ってまいります。更には行政関係から地場産業の普及や啓発に関する事業を受託し、幅広く紹介宣伝することにより側面から公益事業のバックアップを実施してまいります。

以上のことから平成26年度は以下の諸事業を実施するものであります。

1. 地場産業振興事業（公益事業）

盛岡広域生活圏内の地場産業振興のため、地場産品の普及啓発を図る地場産品紹介普及啓発事業、芸術的工芸品の振興を図り、後継者の確保へと結びつけていくことを目的とする体験学習事業、盛岡地域地場産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的とする展示資料室運営事業等を公益事業として積極的に推進し、盛岡地域内の地場産業の振興を図ります。

（1）地場産品紹介普及啓発事業

盛岡地域の地場企業から申請のあった伝統的工芸品や民芸品及び食品等の地場産品について、選考委員会において選考を行い、次の①～③の場所で展示・販売を行って紹介し、広く普及啓発を図ります。また、消費者ニーズやPOSデータ等に基づく販売動向情報等の収集やフィードバックを行って、事業者の商品改良や新商品開発等を支援します。

①振興センターの展示即売室

県内外からの観光客・修学旅行生等の来訪者に対する普及啓発を図るため、取り扱う地場産品については、盛岡地域の全ての生産者を対象に公募を行って選定します。なお、選考基準に収益性は含めず、認知度の低い事業者・商品であっても可能な限り取り扱い、地場産品の普及啓発を図ります。

- ・盛岡地域で作られる地場産品を、即売室において県内外からの観光客・修学旅行生等の来訪者に対し展示販売し、普及啓発を図ります。
- ・出展業者に対し毎月のPOSデータを分析することにより情報提供を行い、新商品企画開発や販路開拓の一助とします。また、販売促進会議などを開催し、より良い商品づくりや地場産業業界の振興発展に寄与します。
- ・即売室において、年間イベントカレンダーを作成し、季節ごとに変化ある売り場づくりを目指します。
- ・新たに設置した即売室内イベントスペースにおいては、業界組合及び出展者に広く呼びかけ、展示会の開催や、試食販売等、広く一般のお客様に地場産品の良さをPRします。
- ・即売室の商品構成を見直しや新商品の開拓を行い、お客様満足度の向上を図ります。

- ・消費者のニーズをとらえ、地場産業業者へ情報提供を行う他、来場者に盛岡地域の地場産品を広くPRします。
- ・地場産品を県内外の多くのお客様にPRすることを目的とし、各出展者と協力し、積極的な試食販売を行います。
- ・多くの修学旅行生に盛岡地域の地場産品をPRするため、土産購入額に応じた取扱エージェント手数料契約を締結します。
- ・お客様が多く訪れる5月・8月・10月に「お客様感謝抽選会」を開催し、多くの人に感謝を伝えます。
- ・お中元・お歳暮など、即売室内にギフトコーナーを設置する他、チラシを作成し地場産品の積極的なPRに努めます。
- ・商品説明など、買い手の立場にたった親切な売場作りを目指しPOPの充実を図ります。

②県内外で行われる見本市や物産展などの催事

首都圏等物産展、沖縄物産展、全国地場産業振興センター交流物産展等に展示即売室の展示商品を出品し、県内外の消費者への普及啓発を図ります。

- ・県内外で開催される各種イベントに参加し、地場産品の普及宣伝に努めます。
- ・県内外のお客様の意見等を広く収集し、意見等は出品対象事業者に対し情報を提供します。
- ・全国地場産業振興センター主催の物産展への出展を行い地域外へ盛岡地域の地場産品をPRします。
- ・イオングループの店舗での定期的な出展販売を通じ、県内客に対し盛岡地域の地場産品のPRを行います。
- ・盛岡市東京事務所との連携による首都圏におけるの催事出展の充実を図ります。

③インターネット通信販売

展示即売室の展示商品やその他の地場産品をインターネットを通じて国内外の消費者に対し展示紹介を行い、普及啓発を図ります。

- ・バーチャルモール「盛岡市産業まつり」の運営を行って盛岡地域の地場産業事業者の商品を掲載し、全国に対し盛岡地域の地場産品のPRと、身近なショップとしての機能の充実を図ります。

また、商品構成の見直しや、新商品の開拓を図り、お客様のニーズにあった商品を多く掲載できるよう努めます。

定期的にメールマガジンを発行し、地場産品の詳しい商品情報を提供してまいります。

(現在のアイテム数、約500品目)

- ・出展業者と会議を開き、ページ構成の見直しや、プレゼント企画などを積極的に開催し、アクセス数の増大を図り、多くのネット顧客をバーチャルモール「盛岡市産業まつり」へ誘導する他、メールマガジンにおいて各種商品の紹介を行います。

(2) 体験学習事業

伝統文化や伝統工芸への理解を深めると共に芸術的工芸品の振興を図り、後継者の確保へと結びつけていくことを目的として、盛岡手づくり村に来場する全国の方々に対して職人の手ほどきによりものづくりの大切さ楽しさを知ってもらう「体験学習」を実

施します。また、平成26年度は新たな需要の掘り起こしを目的に広いニーズに対応する体験メニューの公募や実験的实施を行います。

- ・手づくり教室の開催（通年）
陶器、染物、竹細工、わら細工、木工玩具、はたおり、こけし絵付、こま絵付け、陶器絵付、リース、盛岡冷麺等 11 種類・24 コースの教室を開催します。
- ・多様なニーズに則した体験メニューの公募、実験的实施を行います。
- ・団体体験学習の動向の把握及び旅行代理店、学校等を対象とした誘致PR活動のため、岩手県等が主催する教育旅行誘致説明会に参加します。（札幌・函館・東京の3会場）
- ・宮城県内の旅行代理店、小・中学校への誘致PR活動を行います。
- ・修学旅行の下見に来る学校、団体等の確実な来場確保に努めます。
- ・夏休み、冬休みにおける期間限定の特別体験教室メニューの充実を図るとともに、体験メニューのチラシを盛岡広域内の小学校に配布します。
- ・手づくり講座の開催
お菓子づくり教室、郷土料理教室など盛岡地域向け講座を数多く開催します。

（3）展示資料室運営事業

盛岡地域地場産産業への理解向上と今後の地場産業振興発展を目的として、全国から訪れる来場者に対して歴史や製造工程、制作者等をDVDやパネルで紹介するほか、芸術的作品の展示を行います。

展示資料室はリーフレット等の印刷物に掲載・配付するとともに、ホームページ上での掲載等により広く紹介します。

- ・展示即売室出展者やセンター構成団体等と連携し企画展の企画開催を行います。
- ・展示資料の充実を図り、全国から訪れる観光客に地場産業文化と芸術的工芸品への理解に努めます。
- ・展示品を通じて、地場産品の生産過程や知識高揚に努め、地場産品の普及宣伝を図ります。
- ・構成市町村展示コーナーを充実させ、その特産品の宣伝紹介に努めます。
- ・ツアー等大型団体の入場誘致を図り、県内外の多くの観光客へ地場産業のPRを行います。

2. 人材育成事業（公益事業）

盛岡地域の地場産業を支える後継者等（人材）の育成を通じ、伝統や技術を維持し後世に素晴らしい地場産業を残し伝えていくことを目的とし、意欲のある若手職人を対象にした、デザイン、マーケティング等の研修会の開催や、技術交流及び連携商品開発等の支援、指導を行なうほか、消費者ニーズを把握することを目的とした展示会会場の提供やアドバイスを行います。

3. 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合・レストラン・自動販売機業者及び一般の方々への施設の賃貸を行い、センター運営に必要な収益の一部とします。

4. 販売促進事業（収益事業）

PV 商品であるアロニアジャムやアロニアサプリメント、オリジナルアイス「なんじゃら？」の販売のほか、岩手国体開催に向けオリジナル商品の開発を進めます。

また、盛岡地域外の収益性の高い商品や、集客性の高い商品等の販売を行って、センター運営に必要な収益の確保に努めます。

5. 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市・盛岡地域地場産業振興センター・協同組合盛岡手づくり村の三者において共用する施設の維持管理費を負担しあい、施設の適正な維持管理に努めます。

6. 南部曲り家地場産品 PR 事業（その他の事業）

盛岡手づくり村の南部曲り家は、古くから馬産地である盛岡地域を代表する家屋として往事の生活様式を現代に伝える貴重なものであり、民芸品や郷土食などの地場産業の歴史などを知る上では非常に貴重な建造物であります。

盛岡市から管理を受託しているこの南部曲り家を活用し、年間を通じて独自で企画した工芸品の製作実演や、この地域に昔から伝わる伝統行事等を行うほか、体験学習の場所としても活用し、地場産業の歴史やこの生活の中から生まれてきた素晴らしい民芸品を全国から訪れる観光客に PR し、地場産業文化への理解を得ると共に芸術的工芸品の振興を図ります。

- ・全国から訪れる一般来場者又は外国人客のほか、修学旅行の学生団体等に盛岡地域の地場産業を幅広く紹介することを目的として、定期的にこけしや、亀甲織り、金網細工、繭細工等の工芸品制作実演を実施し、盛岡地域の地場産品を紹介します。
- ・盛岡地域に古くから伝わる民俗・伝統行事などは地場産業の歴史と大きく関わりがあることから、神楽公演や節句行事の開催等を行い、一般来場者又は外国人客のほか、修学旅行の学生団体を対象に民俗・伝統行事等を将来に伝承する活動を行います。

7. 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡地域の地場産業並びに職人が制作する工芸作品や伝統的地場食品等を一般社会に幅広く普及啓発を図るため、行政関係から地場産業の普及や啓発に関する事業（単年度事業）を受託し、幅広く紹介宣伝していくことを目的とする事業を推進します。

ア 地場産業振興研究事業

盛岡地域で活動する工芸家グループの育成や起業化を図るため、首都圏等において企画展を開催します。

イ 盛岡特産品ブランド認証委員会運営事業

盛岡市が進めている盛岡ブランド推進の一環として、より良い盛岡地域の特産品を一般社会に広く紹介するため、認証申請、認証委員会の開催、審査結果通知などの事務局運営を行うほか、首都圏や沖縄県での盛岡市主催催事「盛岡デー」ブース運営を行ないます。

ウ その他受託事業

その他単年度で実施する行政関係からの地場産業に係る普及啓発関連事業を受託し

紹介啓発活動を行います。

8. 交流促進事業（その他の事業）

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に、季節毎のイベントを企画開催するほか、他団体主催のイベントの誘致や支援を行い、直接的、間接的な地場産品の紹介・宣伝に努めます。

＊季節イベント、日曜、祝日イベント等の開催

- ・盛岡手づくり村スプリングフェスティバル（5月）
- ・盛岡手づくり村チャグチャグ馬コ記念行事（6月）
- ・盛岡手づくり村サマーフェスティバル（8月）
- ・盛岡手づくり村秋まつり食文化フェア（10月）
- ・盛岡手づくり村お正月特別営業催事（1月）
- ・盛岡手づくり村ウィンターフェスティバル（2月）
- ・盛岡手づくり村節句行事（3月）

＊関連業界、団体等の催事利用の推進、支援

- ・盛岡手づくり村工房まつり（9月）

9. 管理運営事業

盛岡地域の地場産業振興拠点施設、観光施設としての機能並びに振興センター運営の充実を図るとともに、周辺施設との連携やエージェントへのPRなど、ソフトやハードの面で強化を図り、来場者の誘致と利便性の向上に努めます。

- (1) 各施設利用案内の周知、パンフレットの作成・配布等により、振興センターの利用促進を図ります。
- (2) 施設内外の環境整備に努め、施設の安全・清潔を維持し、来場者へのサービス向上に努めます。
- (3) ホームページ「盛岡手づくり村ドットコム」の運営を行ないます。
- (4) アンケート調査を実施してニーズを把握し、広くその要望を取り入れ、利用者への利便、サービスの向上に努めます。
- (5) 各エージェントに対し、積極的に誘致宣伝活動を実施し、来場者の増大を図ります。
- (6) 手づくり村、小岩井農場、つなぎ温泉で連携した「ワイワイ手つなぎプロジェクト」へ参画し、周辺施設との連携強化に努めます。
- (7) 御所ダムビジョン推進協議会へ参画します。
- (8) つなぎ温泉活性化委員会へ参画します。
- (9) (協)盛岡手づくり村と組織した「盛岡手づくり村環境整備委員会」を活用し、施設周辺の清掃などの環境整備を行います。
- (10) 全国地場産業振興センター協議会の東北幹事センター（平成25年度～平成26年度）としての業務を行うと共に総会・幹事会等へ参加します。
- (11) 岩手県並びに盛岡市出資法人の運営評価に対する対応を行い、健全な施設運営を図ります。
- (12) 旅の駅、赤ちゃんの駅指定施設として機能の充実を図ります。

平成 26 年度 公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター収支予算書

平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで

(単位:千円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計						法人会計	合計
	公 1	公 2	収 1	収 2	他 1	他 2	他 3	他 4		
	地場産業 振興事業	人材育成 事業	施設賃貸 事業	販売促進 事業	共用施設 維持管理 事業	南部曲り家 地場産品 PR 事業	地場産業 普及啓発 事業	交流促進 事業		
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益										
基本財産受取利息	7	0	0	0	0	0	0	0	3	10
基本財産運用益計	7	0	0	0	0	0	0	0	3	10
② 事業収益										
事業収益	59,400	0	3,484	27,954	0	0	50	720	0	91,608
委託料収益	240	0	0	0	3,976	625	15,120	0	0	19,961
負担金収益	30	0	930	0	1,151	0	0	500	0	2,611
事業収益計	59,670	0	4,414	27,954	5,127	625	15,170	1,220	0	114,180
③ 受取補助金等										
受取盛岡市補助金	35,828	815	0	0	834	418	2,443	816	3,846	45,000
受取補助金等計	35,828	815	0	0	834	418	2,443	816	3,846	45,000
④ 雑収益										
受取利息	9	0	0	1	0	0	0	0	1	11
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑収益計	9	0	0	1	0	0	0	0	1	11
経常収益計	95,514	815	4,414	27,955	5,961	1,043	17,613	2,036	3,850	159,201
(2) 経常費用										
事業費及び管理費										
期首たな卸高	1,505	0	156	3,141	0	0	492	0	0	5,294
仕入高	17,460	0	0	6,650	0	0	0	0	0	24,110
期末たな卸高	△1,505	0	△156	△3,141	0	0	△492	0	0	△5,294
給料手当	20,516	615	0	612	634	318	1,845	616	2,998	28,154
臨時雇賃金	14,234	0	0	1,940	0	0	5,356	63	0	21,593
賞与引当金繰入額	1,596	52	0	50	52	26	155	52	209	2,192
福利厚生費	6,956	148	0	466	148	74	1,625	148	639	10,204
旅費交通費	340	0	0	0	0	0	2,069	37	340	2,786
通信運搬費	1,103	0	15	275	0	0	1,036	22	82	2,533
建物・建物付属設備減価償却費	4,676	0	1,277	253	0	0	0	0	126	6,332
什器備品減価償却費	6	0	2	2	0	0	0	0	1	11
構築物減価償却費	17	0	5	1	0	0	0	0	1	24
ソフトウェア減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	74	74
リース資産減価償却費	1,753	0	230	347	0	0	0	0	23	2,353
繰延資産減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	98	98
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	2,360	50	70	705	40	341	448	75	52	4,141
修繕費	1,258	0	440	156	0	0	0	0	34	1,888
印刷製本費	54	0	0	4	0	0	0	0	2	60
燃料費	103	0	0	7	0	0	0	0	4	114
光熱水費	10,950	0	620	650	1,705	10	0	0	400	14,335
賃借料	870	0	90	90	0	0	634	118	535	2,337
保険料	755	0	155	73	40	0	0	0	20	1,043
諸謝金	0	0	0	0	0	0	82	40	0	122
租税公課	4,890	0	1,200	1,410	0	0	521	10	0	8,031
支払負担金	20	0	0	0	0	0	20	100	340	480
委託費	8,100	0	1,930	700	6,106	274	1,620	280	981	19,991
会議費	0	0	0	0	0	0	10	0	10	20
設営費	0	0	0	0	0	0	1,596	586	0	2,182
出展料	2,200	0	0	1,180	0	0	0	0	0	3,380
広告宣伝費	60	0	0	0	0	0	576	505	0	1,141
手数料	4,170	0	0	1,500	3	0	0	1	0	5,674
渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	70	70
雑費	112	0	14	25	0	0	0	0	116	267
事業費及び管理費計	104,559	865	6,048	17,096	8,728	1,043	17,593	2,653	7,155	165,740
経常費用計	104,559	865	6,048	17,096	8,728	1,043	17,593	2,653	7,155	165,740
当期経常増減額	△9,045	△50	△1,634	10,859	△2,767	0	20	△617	△3,305	△6,539

(単位:千円)

科目	公益目的事業会計		収益事業等会計						法人会計	合計
	公1	公2	取1	取2	他1	他2	他3	他4		
	地場産業 振興事業	人材育成 事業	施設賃貸 事業	販売促進 事業	共用施設 維持管理 事業	南部曲り家 地場産品 PR事業	地場産業 普及啓発 事業	交流促進 事業		
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	50	1,634	△8,353	2,767	0	△20	617	3,305	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 9,045	0	0	2,506	0	0	0	0	0	△ 6,539
当期一般正味財産増減額	△ 9,045	0	0	2,506	0	0	0	0	0	△ 6,539
一般正味財産期首残高	421,066	0	115,889	26,597	0	0	492	0	7,633	571,677
一般正味財産期末残高	412,021	0	115,889	29,103	0	0	492	0	7,633	565,138
II 指定正味財産増減の部										
①基本財産運用益										
基本財産受取利息	7	0	0	0	0	0	0	0	3	10
基本財産運用益計	7	0	0	0	0	0	0	0	3	10
②一般正味財産への振替額										
一般正味財産への振替額	7	0	0	0	0	0	0	0	3	10
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	19,000	0	0	0	0	0	0	0	8,370	27,370
指定正味財産期末残高	19,000	0	0	0	0	0	0	0	8,370	27,370
III 正味財産期末残高	431,021	0	115,889	29,103	0	0	492	0	16,003	592,508